



花ちゃん 「ところで、クモは日本に何種類くらいいるんだっけ。」

オー君 「えーと、昨日のお話では、1000種類とかいてありました。」

花ちゃん 「モンタ博士、それらはみんな網をはるのですか。」

モンタ博士 「網をはるクモは、その中の半分くらいだそうだ。校長室前にいるコガネグモやよく見かけるオニグモは丸い網を作るんだ。」

オー君 「クモによって網の形はいろいろなんですね。」

モンタ博士 「クモの網のお話は、また今度してあげよう。ところで、網は、雨や風などですぐにいたんだり、ほこりがついて使い物にならなくなるんだよ。それで、モンタ博士もおどろいたけど、クモは、1日か2日ではりかえるそうだよ。クモもいろいろと苦労しているね。さらに、網を作りかえる時に、なんと、古い網を食べてリサイクルするというから、たまげちゃうね。」

花ちゃん 「すごい虫？いや、クモは虫じゃなかったわ。足が8本だもんね。」

オー君 「ムカデのように足がいっぱいあるやつも虫じゃないし、どうなってるんだ？」

界・門・綱・目・科・属・種 (かい・もん・こう・もく・か・ぞく・しゅ)

上の界・門・綱・目・科・属・種とは、全生物の分類単位を表したものです。動物を例にとると、門は脊椎動物とか、軟体動物とか、節足動物とかになります。サンマやカエル、キョウリュウ、ヒトは、背骨=脊椎骨をもつということで、脊椎動物門になります。昆虫は、節足動物といい、節のある足を持つということです。エビ、カニ、クモ、ダニ、サソリ、ムカデはすべて節のある足を持っています。つまり、節足動物の門というレベルでは同じ動物と言えるでしょう。

モンシロチョウを例にとると、動物界—節足動物門—昆虫綱—チョウ目—シロチョウ科—モンシロチョウ属—モンシロチョウ(種)となります。クモはクモ形動物綱となり、ムカデ、ヤスデは多足動物綱となり、ダンゴムシは甲殻動物綱となります。

植物界も種子植物門—単子葉植物綱とかいろいろあります。詳しくはまた後日!